高体連会報
青春の躍動
発行
島根県高等学校体育連盟
TEL・0852-26-3842
FAX・0852-26-3695
発行人◇山本　研
編集◇高体連　誠
印字◇山崎　興
題字◇山本　剛
印刷◇松本印刷

## 「令和7年度中国インターハイに向けて」

島根県高等学校体育連盟
理事長　小倉庸一

島根県高体連事務局が松江東高校へ移転し1年が経ととしています。この間、全国大会等での活躍をはじめ、県内大会や地区高体連大会等で一所懸命にプレーする皆さんの姿に大きな活力をもらっていましたが、それは私だけでなく、保護者の皆様や指導者、老若男女を問わず多くの人々に夢や感動、元気を与えてくれました。代表して、皆さんの頑張りに深く敬意を表します。

さて、令和7年に中国地区で開催されるインターハイの大会受称等が決定しました。県内で開催される競技種目（開催地）は、フェンシング（安来市で、バレーボール男子（松江市で、レスリング（雲南市で、なぎなた（出雲市）、カヌー（美郷町で、体操競技（浜田市）となっています。その他の競技も一部の固定開催を除き、ほとんどが中国地区での開催となりますので、ホームに近い雰囲気の中、地の利を生かし活躍する本県選手の姿を、今から期待しているところです。

また、中国インターハイでは、選手以外の皆さんにも「高校生活動」を通じて一緒に大会を盛り上げていただきたいと思っています。高校生活動とは、開催○○日前イベントなどによる機運醸成や、来県される方々へのおもてなし、競技補助員など様々な立場で大会の準備、運営等に協力いただくものです。全国各地の高校生トップアスリートをはじめ、来県される大勢の皆さんと交流できるめったにない機会でもあります。中国インターハイがすべての高校生にとって貴重な経験と多くのご縁を紡ぐ場となり、意義ある大会となるよう準備を進めていきますので、多くの皆さんに積極的に関わっていただきたいと思います。

今年度は新型コロナの5類移行もあり、ほとんどのスポーツ・文化芸術活動がコロナ禍前に近い形で行われるようになりました。皆さんには、体育・スポーツ活動に様々な場から積極的に関わることで、心身の健康の保持増進はもとより、自己の能力や人格を高め、成長の糧にしてほしいと願っています。

## 開け未来の扉　中国総体 2025

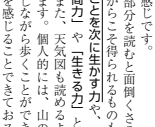
広島県立高陽高等学校　2年　二井（にい）　陽香（はるか）

作品説明　コロナ禍で先がどうなるかわからない中、高校生が様々な制限の中で培ってきた努力を発揮し、未来を少しでも明るくしたいという思いを込めました。

山口県立萩商工高等学校　3年　阿部（あべ）　晃子（あきこ）

作品説明　全選手に向けてのメッセージとしての意味。努力は裏切らないという思いです。

広島県立海田高等学校　1年　桝澤（ますざわ）　雄希（ゆうき）



作品説明　5つで色を変えて中国地方の5県をイメージしその5県が高体連のマークに向かって競っているときの躍動感を表現した。

## 「プレッシャーを乗り越えた1年」

横田高校　男子ホッケー部
主将　西村　洸希

私たち男子ホッケー部は、1年間「挑戦者」という目標を立てて部活動に取り組んできました。去年は三冠という記録を達成しましたが、今年はまた一から強いチームを作っていこうという強い気持ちでこの目標をたてました。今年はどの大会にも連覇がかかっている中で、無意識にどこかで連覇に対するプレッシャーを私自身感じてしまっていました。今年のチームは固い守備からの早いカウンターというのをストロングポイントとしてのインターハイでは、決勝戦まではこのストロングポイントを活かしたホッケーで、失点も少なく、高い得点力で点を重ね勝ち進んでいくことが出来ました。ですが、決勝戦では失点が重なり、大敗してしまいました。試合を見返した時にチーム全体で先制点を入れられた時に負けたらいけないというプレッシャーでプレーが消極的になってしまっていたと感じました。また、国体では先制点こそ入れられてしまいましたが、そこで気持ちが切れず自分たちのプレーを続けることが出来ました。ですが、決定機をなかなか決め切ることが出来ず、自分たちの強みを活かすことが出来ずに、試合を通して連覇のかかったインターハイでは、失点もなく、攻撃力の高いチームとの対戦となりました。ベンチメンバーから失点したことが悔しかったです。個人としてもチームとしても攻撃力・守備力を高めることができ、成長できた一年だったと思います。顧問の先生をはじめご指導いただいた皆様、応援してくださる地元の皆様のおかげで頑張ることができました。応援ありがとうございました。これからも横田高校ホッケー部の応援をよろしくお願いします。

## 「一年を通して」

横田高校　女子ホッケー部
主将　林　煌莉

私たち女子ホッケー部は、「日本一」を目標に、一年間日々の練習に取り組んできました。インターハイ3位、さくらトップリーグ2位、全国高校選抜ホッケー大会3位という結果を残すことができました。

インターハイでは、チャンスの場面で点を取ることができず、自分たちのペースで試合を進めることが難しかったです。準決勝で、岐阜各務野高校と対戦し、立ち上がりがよく先制点を奪うことができましたが、後半相手のペースに押され失点し、シュートアウト戦の末負けました。国体予選では、自分たちの強みのパスホッケーを生かすことができず、気持ちばかりが焦る場面が多くなり、予選敗退という悔しい結果となりました。

そのくやしさをバネに、9月に初めて開催されたさくらトップリーグに挑みました。全国の強豪校4校がリーグ戦でトップを決める大会で、丹生・石動・岐阜各務野・横田で行いました。強豪校を相手に、自分たちのリズムで試合を進める展開も多くありました。2勝1敗で2位という結果になりました。この大会で見えた課題を改善するために、全国選抜に向けて取り組みました。

このチームで最後の大会となる全国選抜では、初戦から自分たちのペースで試合をすることができました。2回戦では、岐阜各務野高校と対戦しインターハイで敗れた相手ではありましたが、全員で勝ちに行く強い気持ちをもって挑めた試合でした。先制点を取ることで勢いがつき、チャンスの場面を生かし追加点を奪うこともできました。ピンチの場面もありましたが、守り切り3−1で勝利しました。なによりチーム一丸となって戦うことのできた試合だったと思います。準々決勝の不来方高校との試合では、自分たちの攻める時間が多くありました。前半は共通理解ができていない場面があり、点を取ることに苦戦しましたが、後半は全員で攻めきり3点を取り4−0で勝利しました。準決勝では、丹生高校と対戦しました。内容としては、自分たちのしたいパスホッケーをすることができず、相手のサークルまで攻めることができませんでした。守りに徹する時間が多かったですが、集中して守り抜くことができました。ベナルティコーナーから失点した1点を返すことができず0−1で敗れ、インターハイに続く3位という結果となりました。

私たちが目標としていた「日本一」には届きませんでしたが、個人としてもチームとしても攻撃力・守備力を高めることができ、成長できた一年だったと思います。顧問の先生をはじめご指導いただいた皆様、応援してくださる地元の皆様のおかげで頑張ることができました。応援ありがとうございました。これからも横田高校ホッケー部の応援をよろしくお願いします。

とが出来ず、負けてしまい5位という結果で終わってしまいました。インターハイでは守備の面で課題が残り、国体では攻めの面でチーム全体で選抜大会に向けてのミーティングを行いました。そこで全員が改めて目標を再確認し、個人として、学年として、ポジションとして残りの1ヶ月間で何をすべきかを確認しました。迎えた選抜大会では、初戦を戦った感じ、チームの完成度はあまり高いものとは言えませんでした。ですが、大会期間中に新しいことを取り入れ、特に準決、決勝では相手に決定機を与える機会もそこまで多くなく、大会期間中にチームの完成度を格段にあげ、優勝することが出来ました。今年は、優勝までの道のりが長く、去年は優勝するのが当たり前のチームでプレーをしていて、その分今年なかなか勝てなくて辛い時期というのが続きましたが、最後の大会で優勝し、王座奪還することが出来て良かったです。プレッシャーのかかる1年間でしたが、最後の選抜大会ではそのプレッシャーも楽しみ全員がプレーすることができました。1年間応援ありがとうございました。

## どんな競技？

### 登山とは、どんな競技？

山ガール、登山女子という言葉が定着し始めたのが２００９年頃（もう15年前）。最近ではキャンプブームもあり、登山用品もカジュアルなものが増え、登山はだいぶ身近なものになってきました。山の魅力は登山、頂上からの景色だけでなく、キャンプや山ごはんなど多岐に渡り、楽しみ方も人それぞれです。

そんな魅力の多い登山ですが、登山部・山岳部の行う登山には、競技性も含まれます。では、競技となった場合にどのように順位付けすると思いますか？

早く登って降りた学校？とかではなく、実は登山に関するいろいろなことを審査し評価をします。順位付けを行うという形です。

４人１チームを基本とし、審査項目は登山能力（体力・歩行技術、服装・装備、テント（設営・撤収）、炊事、天気図、課題テスト、計画書、行動記録、読図技術　…etc

山に登って降りて終わりではなく、開会式から閉会式までの間（大会前の準備（計画書）含む）、審査があります。その山の知識や救急コンロが正しく使えているか、衛生的な調理ができているかなど、審査項目に関する細目もたくさんあります（調理の出来上がりの味は関係ありません。そういった細目を多くクリアーできた学校が上位になるといった感じです。

こういった部分を読むと面倒くさそうと感じるかもしれませんが、競技性があるからこそ得られるものもあります。計画を立て、実行し、そこで学んだことを次に生かすわざや、困難さを仲間と協力して乗り越えるわざなど「人間力」や「生きる力」と表される力は、登山を行えば身につきます。また、天気図も読めるようになります。個人的には、山の地図が読めるようになると、山の地形を予想しながら歩くことができ、その予想が当たると今までと違った楽しみを感じることできておススメです。そして何より、困難さを越えたときに見た頂上からの景色は、今まで感じたことのない感動を与えてくれることでしょう。

またクライミング競技も行っています。こちらも東京オリンピックの種目となり、以前より身近なものになりました。まず登山は団体競技ですが、クライミングは個人競技です。大会では県内のクライミングジムに通っている高校生も参加しています。スタートからゴールまで指定されたホールドを利用し、登っていきます。技術は当然必要ですが、どう登るか考える予測能力（戦略性）も大切です。練習すれば、それらが身についていくので、こちらの競技もおススメです。登れなかったルートが登れるようになったとき、今まで以上の達成感、自己成長感が得られると思います。

現在、登山専門部に加盟する学校（山岳部・山岳部がある県内の学校）は、松江北高校、松江工業高校、出雲高校の3校です。加盟校は少ないですが、少ないからこそ3校のつながりは強く、協力しながら大会運営などに当たっています。部員同士の交流も多く、仲が良いのが特徴です。登山やクライミングを身近に感じてもらうとともに、登山専門部も身近に感じてもらえるとありがたいです。

| 種　目 | 性別 | 団体 個人 | 出　場　校 学校名・生徒名(学年)・人数 | 監督名 | 大　会 期　日 | 大　会 会　場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| バスケットボール | 男子 | 団体 | 出雲北陵高校 | 手島幹人 | 12/23～29 | 東京体育館・武蔵野小高総合スポーツプラザ |
| | 女子 | | 松徳学院高校 | 目次寿明 | | |
| バレーボール | 男子 | 団体 | 松江工業高校 | 佐藤　城 | 1/4～8 | 東京体育館 |
| | 女子 | | 安来高校 | 岩田将太郎 | | |
| ソフトボール | 男子 | 団体 | 安来高校 | 佐藤和宜 | 3/22～25 | 宇部市東部体育広場（山口） |
| | 女子 | | 三刀屋高校 | 岡藤　雅 | 3/16～19 | 富士山スタジアム、山宮ふじぐらら環技場、外海スポーツ広場（静岡） |
| サッカー | 男子 | 団体 | 立正大学松南高校 | 野尻　豪 | 12/28～1/8 | 国立競技場ほか 首都圏 |
| テニス | 男子 | 団体 | 開星高校 | 細木秀樹 | 3/20～26 | 博多の森テニス競技場（福岡） |
| | 女子 | 団体 | 松江東高校 | 岩根勝利 | | |
| | | 個人 | 加藤那菜(2)　古賀高校 | 長谷川哲明 | | |
| ソフトテニス | 男子 | 団体 | 松江工業高校 | 野津洋吉 | 3/28～30 | 日本ガイシホール（愛知　名古屋市） |
| フェンシング | 男子 | 団体 フルーレ エペ | 安来高校 | 渡辺大介 | 3/20～22 | 島原復興アリーナ（長崎） |
| | 女子 | 団体 フルーレ エペ | | | | |
| レスリング | 男子 | 団体 | 隠岐島前高校 | 河内龍馬 | 3/27～29 | 新潟市東総合スポーツセンター（新潟） |
| | | 51kg級 | 長谷川　翔(2) | | | |
| | | 51kg級 | 實重幸助(2) | | | |
| | | 60kg級 | 石橋賢人(1) | | | |
| | | 80kg級 | 中原陽向(1) | | | |
| | | 125kg級 | 佐藤聡太(2) | | | |
| | | 60kg級 | 黒田東武陽(2) | 松江工業高校 | 澤谷隆成 | |
| ホッケー | 男子 | 団体 | 横田高校 | 伊藤直登 | 12/22～27 | 大井ホッケー場 ノースピッチ（東京） |
| | 女子 | | | 恩田賢二 | | |
| ボート | 男子 | ダブルスカル | 松江東高校 | 佐藤秀人 | 3/22～24 | 天竜ボート場（静岡　浜松市） |
| | 女子 | 舵手付 クォドルプル | 松江北高校 | 玉木　愛 | | |
| | | ダブルスカル | 松江東高校 | 恩田大輔 | | |
| | | シングルスカル | 兼本葵衣(1) | 晉発が丘女子高校 | 伊達山真由美 | |
| ボクシング | 女子 | ライト級 | 金丸桜花(2) | 出雲西高校 | 磯貝　卓 | 玉野市総合体育館（岡山） |
| アーチェリー | 男子 | 個人 | 板垣歩武(2) | 出雲工業高校 | 松下千華 | 彩の郷　つま恋「第一多目的広場」（静岡　掛川市） |
| ライフル射撃 | 女子 | エアライフル ピームピストル | 藤井愛子(1) | 立正大学松南高校 | 木原一也 | 広島県つつがライフル射撃場 |
| なぎなた | 女子 | 個人 | 寺本春菜(2) | 出雲北陵高校 | 井上美代 | 伊丹スポーツセンター（兵庫　伊丹市） |
| 少林寺拳法 | 女子 | 単独演武 | 神田　結(2) | 松江東高校 | 大屋えりか | 善通寺市民体育館（香川） |
| スキー | 男子 | アルペン | 和久利癸生(2) | 飯南高校 | 和久利佳生 | 志賀高原スキー場（長野　山ノ内町） |
| | 女子 | アルペン | 和田祥愛(2) | 大田高校 | 桑原健二 | |

※令和６年２月20日現在確定している競技

## 令和５年度 全国高等学校選手権・選抜大会 出場者

| 種　目 | 性別 | 団体 個人 | 出　場　校 学校名・生徒名(学年)・人数 | 監督名 | 大　会 期　日 | 大　会 会　場 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 体操（体操競技） | 女子 | 個人 | 山本　愛(2) | 松江東高校 | 北村拓也 | 3/21～22 | 彩の国くまがやドーム（埼玉） |
| 剣道 | 男子 | 団体 | 出雲西高校 | 高瀬遼太 | 3/26～28 | 春日井市総合体育館（愛知） |
| | | | 大社高校 | 小村　健 | | |
| | 女子 | | 大社高校 | | | |
| 柔道 | 男子 | 団体 | 開星高校 | 下田　尚 | 3/19～20 | 日本武道館（東京） |
| | | 60kg級 | 古岡　祥(2) | 開星高校 | | |
| | | 60kg級 | 澄川華汰(1) | 明誠高校 | 大畑勤市 | |
| | | 66kg級 | 鈴木泰聖(2) | 開星高校 | 下田　尚 | |
| | | 73kg級 | 倉橋英太(2) | | | |
| | | 81kg級 | 藤本暖留(2) | | | |
| | | 無差別級 | 山岡大雅(2) | | | |
| | 女子 | 団体 | 平田高校 | 高橋　拓 | | |
| | | 48kg級 | 田口舞桜(2) | 出雲西高校 | 青木聡美 | |
| | | 52kg級 | 西藤心彩(1) | 平田高校 | 高橋　拓 | |
| | | 57kg級 | 加藤桜来(2) | 出雲西高校 | 青木聡美 | |
| | | 63kg級 | 福田さくら(2) | 平田高校 | 高橋　拓 | |
| | | 無差別級 | 石原歩美(2) | 出雲西高校 | 青木聡美 | |
| 弓道 | 男子 | 団体 | 邇摩高校 | 大田清司 | 12/23～25 | 東京武道館（東京） |
| | | 個人 | 神門直希(2) | 出雲高校 | 森脇健二 | |
| | | | 梅津邇斗(1) | 浜田商業高校 | 多久和恵美子 | |
| | 女子 | 団体 | 出雲高校 | 宇佐美朝士 | | |
| | | 個人 | 古川結愛(2) | 出雲高校 | | |
| | | | 和田夢叶(2) | 出雲商業高校 | 大野陽太 | |
| 相撲 | 男子 | 80kg級 無差別級 | 宇越太一(2) | 隠岐水産高校 | 福田拓司 | 3/16～17 | 高知県立春野運動公園相撲場 |
| | | 100kg級 無差別級 | 日野遼太(1) | | | |
| 卓球 | 男子 | 団体 | 出雲北陵高校 | 古瀬泰之 | 3/22～24 | 山形県総合運動公園他（山形県　天童市） |
| | | | 松徳学院高校 | 佐藤拓也 | | |
| | | シングル | 奥野太樹(1) | 松江商専 | 箕田充志 | |
| | 女子 | 団体 | 明誠高校 | 岸　卓臣 | | |
| | | シングル | 松尾清花(1) | 松徳学院高校 | 坂本　浩 | |
| 自転車 | 男子 | 4km個人追尾競争 個人ロードレース | 内田琉生(2) | 横田高校 | 寺本道彦 | 3/26～29 | 福岡県北九州市メディアドーム大分県オートポリス |
| | | 3km(ケイリン)(ケイリン)(ポイントレース) | 陶山陽也(2) | | | |
| | | ポイントレース 個人ロードレース | 鳥谷颯太(2) | | | |
| | 女子 | ポイントレース 個人ロードレース | 江戸　優(1) | 出雲工業高校 | 富田雄大 | |
| 登山（クライミング） | 男子 | 個人 | 山本陸生(2) | 出雲西高校 | 梅津博允 | 12/23～24 | 加須市民体育館（埼玉） |
| | | | 横原凛太朗(1) | 松江東高校 | 長門拓郎 | |
| | | | 大谷咲花(2) | 晉発が丘女子高校 | 山中清恵 | |
| | | | 福岡陽菜(2) | 出雲高校 | 宮崎邦哉 | |
| | 女子 | | 佐藤汐乃(2) | | | |